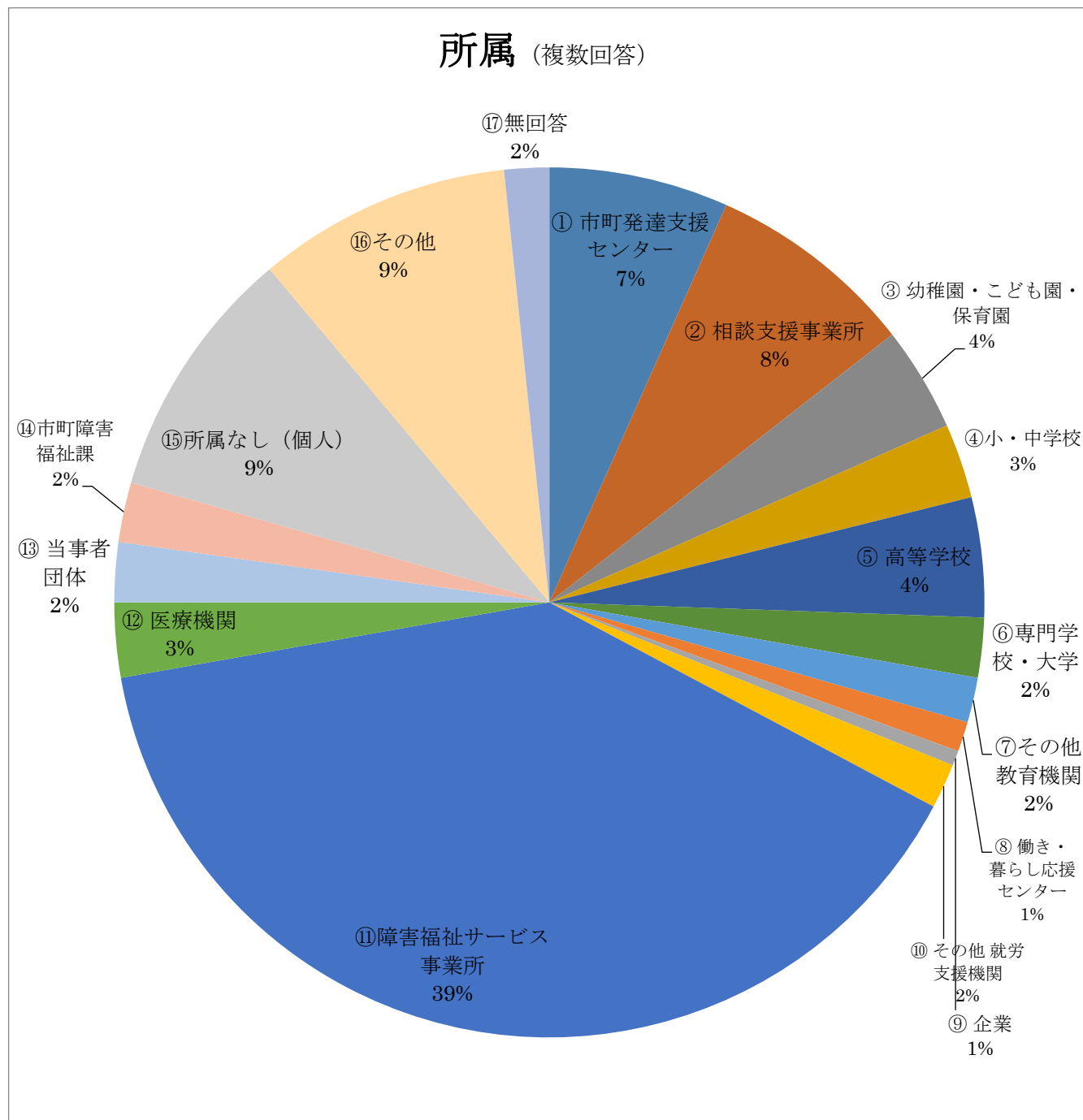
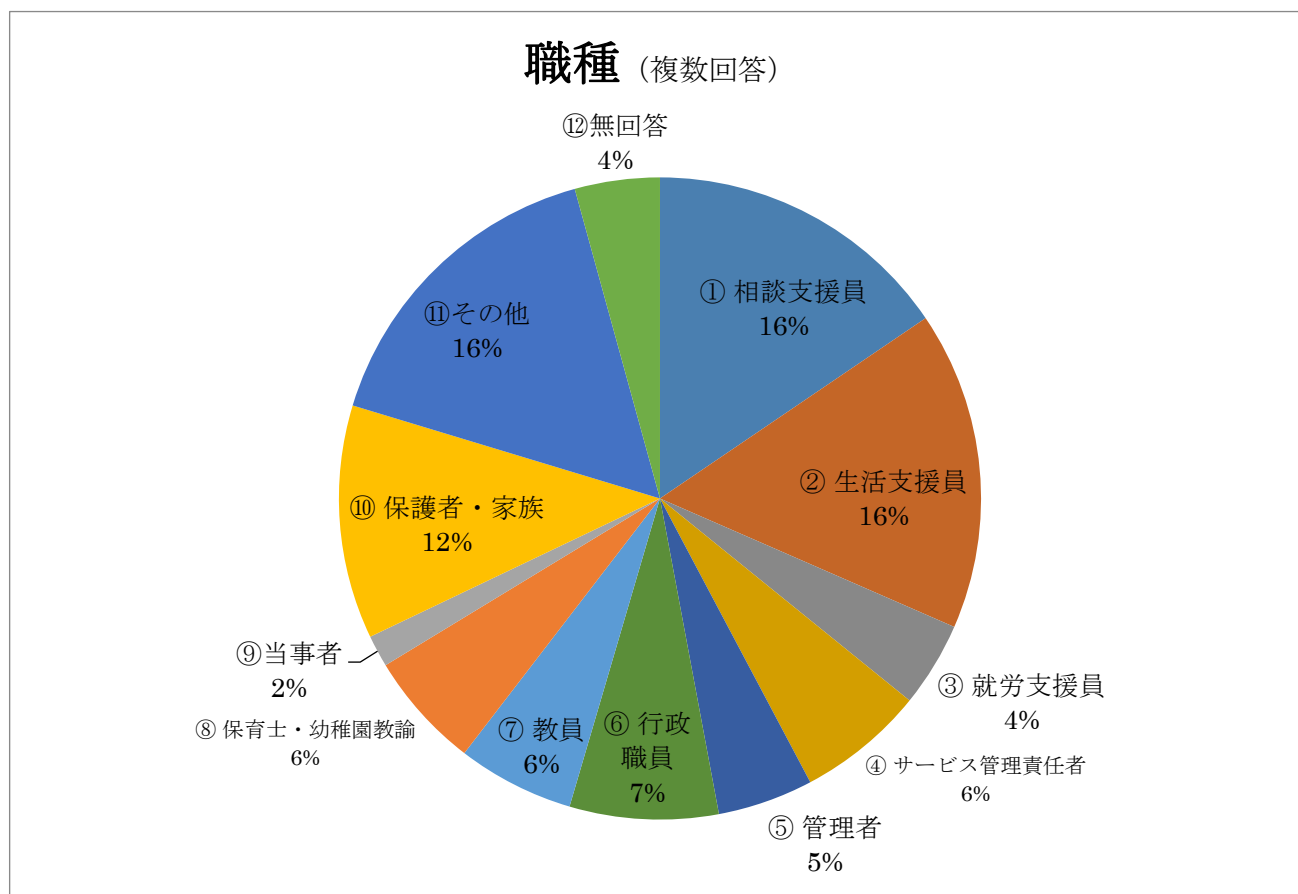


アンケート回答率：96%

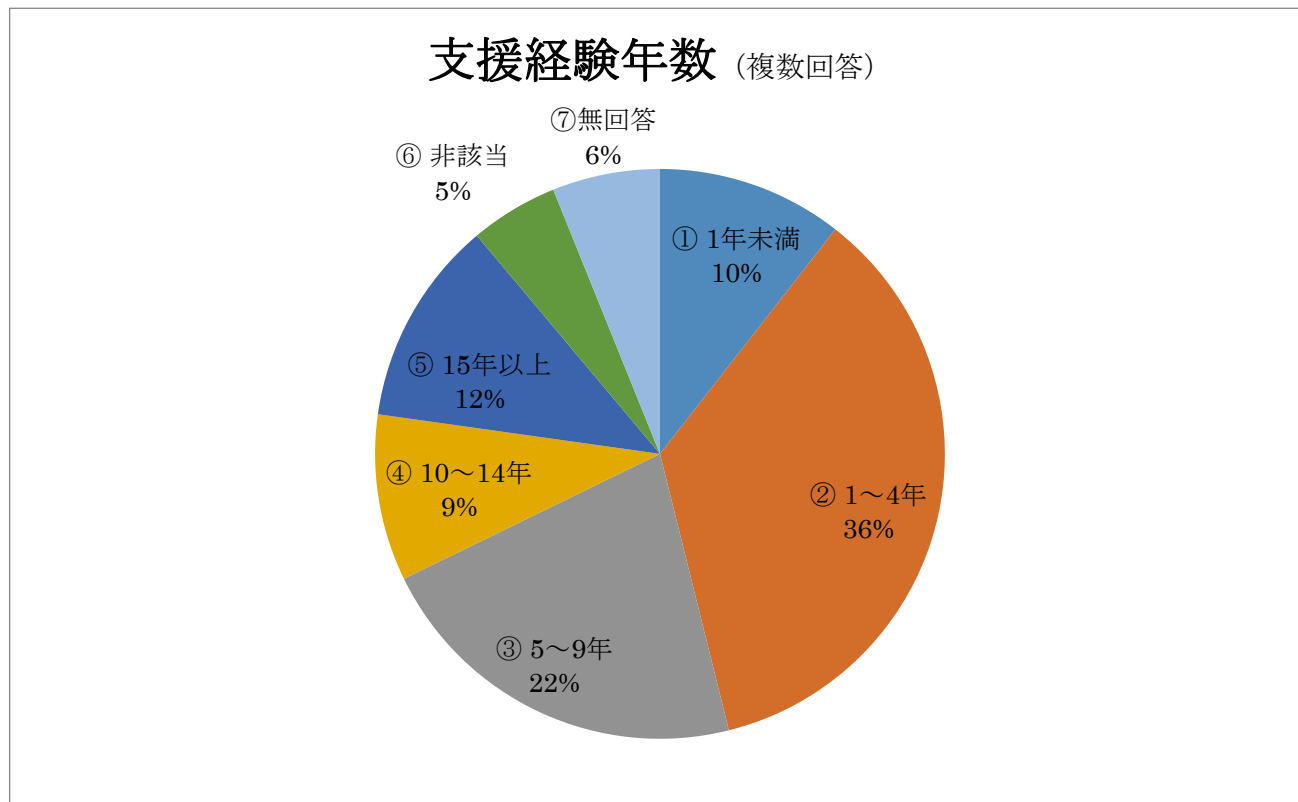
所属について



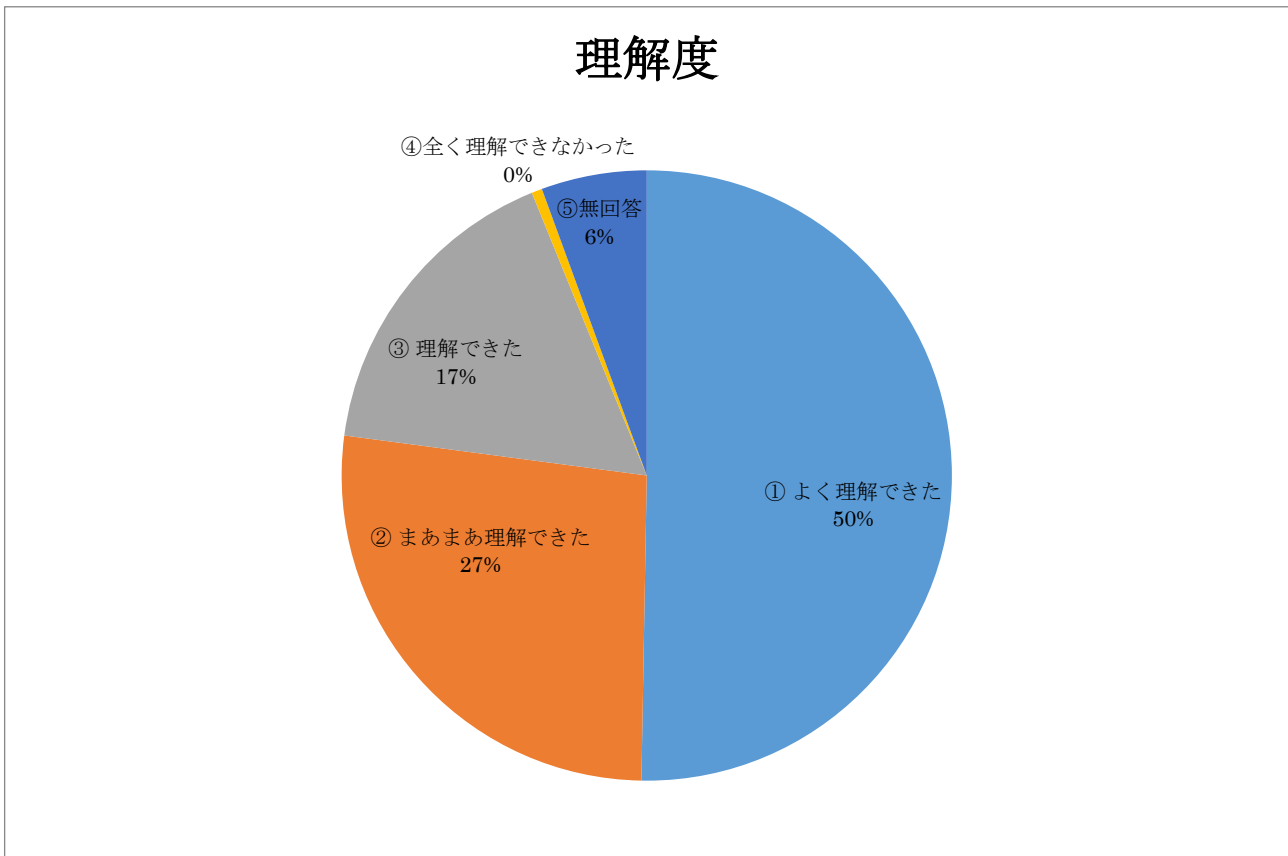
職種について



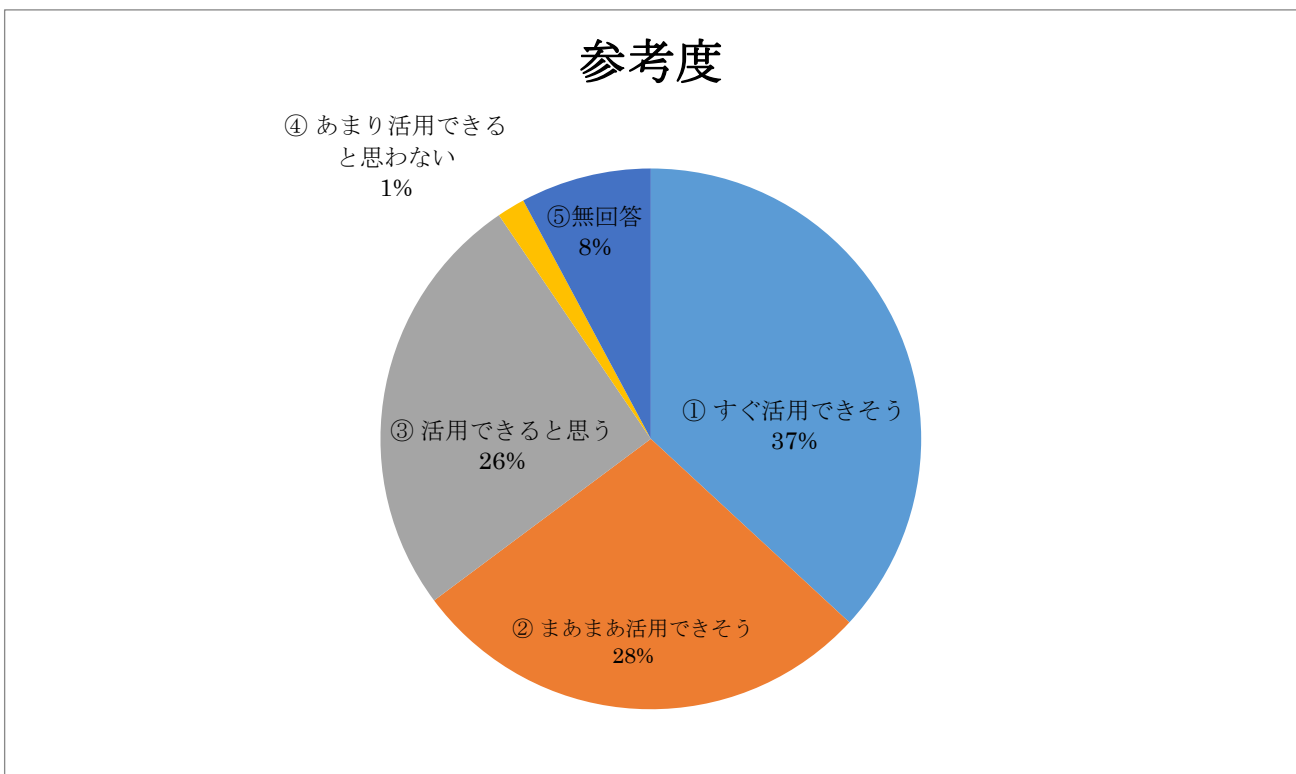
支援経験年数について



本日の講演会について
理解度



参考度



その他ご感想など ※アンケートの自由記述から抜粋し、個人が特定されないような形で要約させていただきました。

【講演全体を通して】

- たくさんのヒントをいただいたように思います。
- 保護者さんや子どもさんに関わる上でとても大切な“心構え”がたくさん勉強できました。
- 事例を含めながら講演をしていただき、とてもわかりやすかったです。
- 専門的な知識と豊富な経験とあたたかい思いにあふれたお話でした。
- 発達障害そのものの理解だけでなく、親御さんや本人の実際の気持ちが具体的によくわかりました。
- 発達障害のある方や、その家族の方々の思いやしんどさなどご本人の視点から具体的に知る貴重な機会となりました。支援者として本人の今の存在意義を認め、相互に学ぶという関係性を常に心にとめていきたいと思いました。
- 障害に向きあう本人、家族、周りの人の理解でどのように育っていくか生きていくかが大きく変わることを再度考えることができました。自分のケアを見直す機会になりました。
- 講演を聞いて、療育の内容、支援の仕方の見直しが必要だと感じました。職場に持ち帰り、スタッフと話し合いたいと思います。
- 発達障害の基本的なことをわかりやすく講義していただけてありがたかったです。支援者として持つべき視点、姿勢を改めて見直すべきと思いました。
- 基本的な発達障害の知識から支援の方法まで詳しく知ることができ、勉強になりました。
- 心に響く内容でした。今日の講演内容を心に留めながら寄り添った支援を行っていきたいと思いました。
- 子ども本人が感じているしんどさを理解し、そのしんどさを緩和する支援の手立てを工夫していくことを改めて心掛けたいと思いました。また、ご家族との関係を含む広い意味での家族の支援を様々な視点で考えていきたいです。
- 障がいがあるということ、診断名がついた「私」とは？ということ、目の前にいる人と一緒に考え、整理していくことができると感じました。
- 「発達障害は関係の支援であるべきだ」という言葉が印象に残りました。

【家族支援の重要性について】

- 当事者への一番の支援は家族から始まり、家庭が基となって本人の世界を広げていく重要さを改めて認識しました。
- ふだん子どもたちのことばかり考えていましたが、今日の講演を聞いて、家族さんとのつながりやコミュニケーションも大切にしていきたいと思いました。
- “家族支援が大切”ということをもっと理解できました。支援を通して本人、家族に影響を与える仕事なのだと思うと、自分の支援をもう一度改めなければと思いました。

【障害の告知について】

- 告知の話をもっと詳しく聞きたいと思いました。
- 障害告知についてのお話がすごく勉強になりました。本人、家族から学ぶ姿勢の大切さを改めて感じました。
- 障害の告知を一発逆転の材料としないという言葉がすごく考えさせられました。診断や告知は、そ

の方の今後の生活を考える上で本人、家族の準備、協力が得られる状況を見て行っていくものなのだと感じました。

【コミュニケーションについて】

- コミュニケーションの大切さを改めて感じました。
- ソーシャルストーリーズやコミック会話などはじめて聴いたので、あとで詳しく調べたいと思いました。
- 「伝える手段を伝えていくこと」が本当に大事なんだと感じました。1人1人に合わせて伝える手段を支援したいと思います。
- コミュニケーションの取り方1つで大きく変われることを知りました。色々な方がいることを知る機会になりました。

【先のライフステージを見据えた支援について】

- 改めて早期療育の必要性を感じました。
- 今日の講演を聞いて、先のライフステージを見据えたことを伝えていくことの大切さを感じました。
- 子どもがどう成長し、どの時期に何を身に付けるべきか、その時周囲はどういう支援をするべきかについて、イメージが持てたように思います。